

<多機能型事業所：生活介護/就労継続 B 型>

多機能型事業所 童里夢

令和 4 年度 事業報告書

《令和 4 年度の経過と評価》

令和 4 年度は、管理者の異動により前年度からの引継ぎ、兼務体制の開始、そして事業運営、体制が不安定な状況で始まり離職者による職員減、運営体制（業務分掌、職務、職責）、作業班体制（生産活動、職員体制）もしっかりとしたものではなかった。しかし年度後半には令和 5 年度に向けて職員の職務への意識等が徐々に改善傾向に向かった。中長期計画を具体的にしていくことで法人内全体での支援体制、事業所間の兼務職員の協力体制をとることができた。しかし、兼務することで勤務時間、出勤、退勤時間の違いによっての事業所内での人員調整等課題も見えてきた。

年度当初からぱあとなあ（GH）へ夕食提供そして、すたあとの短期入所事業への夕食提供を開始する協力体制ができ、法人内での売り上げ向上にもなった。

新型コロナウイルスの影響によって行事、イベントの中止、延期、また外部販売、バザー等の減少になったが徐々にイベント等開催されることになり販売活動を再開できるようになった。引き続き法人内での情報共有、対応の共通化、そして事業所内での感染対策、情報共有をして利用者、ご家族が安心できるよう対応を行なった。

事業運営では定員に満たしていない事で見学、実習と受け入れてきたが対応や支援力不足がうかがえた。定員充足は継続的課題になり来年度は学校訪問をして実習の受け入れ、利用者とのマッチングを見極めていく。

【ばくばくぱん】

年間のイベント・販売等、計画的に製造し、生産活動、利用者支援と前向きに取り組むことができた。

昨年度同様新型コロナウイルスの影響でバザー等販売機会が少なかったが次第にイベントが行われるようになり外部販売に戸惑いながらも積極的に取り組めた。店舗営業をしつつも、注文販売が中心となり減収傾向ではあったが新商品ではうずら卵を使用した「カヌレ」の販売、繁忙期となるシュトーレンの製造販売と力を注いだ。新たな販路に繋げるためにも特徴である天然酵母、国産小麦をアピールして販路拡大、顧客獲得と今後も継続的に取り組んでいく。年度当初、パン製造技術の継承がうまく進んでいない状態で年末頃から前向きに取り組むことができたがまだまだ未習熟のため早急に製造技術の継承を行う継続課題となった。

利用者支援では、作業内容の説明を丁寧にして関わる部分を増やして役割を明確化、やりがいを持てるよう支援に力を注いだ。利用者間の関係性についてパン班での居場所を作り他班利用者との良好な関係を維持できるよう関係調整を行なった。利用者ご家族から説明が不十分で誤解を招くことがあり、今後理解してもらえる丁寧な説明を心掛けていかなければならない。

【れすとらん班】

釜めし専門店として2年目を迎え、オープンキッチンでは釜めしづくりを専門技術がなくても手順通りに利用者と共に行うことができている。季節限定メニュー、デザートの実を付けてきたが集客状況は低迷し続けた。しかし、毎月「9」が付く日にちに「くうの日」としてデザートセットのサービスをSNSの活用し、周知したことで集客も見込まれ定着しつつある。今後も営業活動については、認知、集客の向上に継続して検討して利益を上げていけるようにしていかなければならない。

利用者支援では、関わる部分を丁寧な説明をして、時には作業の細分化をして役割を意識してやりがいをもって作業に取り組むよう行った。時に不安定になった利用者、またその周辺にいる利用者に対して安全を確保しながら落ち着けるよう支援していたが突発的な時には対応しきれないこともあり作業をしながらも広い視野、また利用者の状態把握等対応していけるようにしていくことが求められる。

給食提供についてはグループホームへの夕食提供、その後すたあと短期入所時の夕食提供の実施し、メニューの相談等考慮し栄養バランスを考えた上で継続して取り組んでいく。

【雑貨班】

支援室、エコーの2拠点での支援体制をとっていたが離職者、また兼務の時間帯によって手薄になり目が行き届かない状況があったことを踏まえ2拠点であるところ1拠点にして作業場所、利用者の配置等試行錯誤しながら安定を図った。限られた空間の中で落ち着いて過ごし作業に向かえるようにパーテーション等で個室を確保し委託作業に集中できる環境を整えたことで周りの利用者も落ち着くことができた。

エサ用コオロギの販売では赤塚山公園への定期的取引の継続、またYouTubeやSNSの活用により少しずつ個人客への販売が伸びている。委託作業では新型コロナウイルスの影響が徐々に薄れ依頼される量も増えてきたが、職員負担が大きくなり依頼量を制限させていただいていた。新たに農作業、果樹の選定を検討し準備を進めている。今後は奏楽の農作業での協力体制を整えていく。生産活動以外でも健康延伸活動の取り組みで健康維持、体重の減少となる近隣の石巻山への体力づくりを実施、継続していく。

朝夕の送迎を雑貨職員が担当していることもあり、朝の受け入れ時人手が足りなくなることを考え2ルートを合併して1ルートに変更、受け入れ時の職員体制を整えた。

【Pan-Kan 製造センター】

新型コロナウイルスの影響で取引業者からの受注が減少気味ではあったが、自宅療養者の食料として企業から採用され、またふるさと納税の返礼品として防災食以外での受注が伸びた。新型コロナウイルスの影響も徐々に薄れ年度末には繁忙期を迎え利用者工賃も高水準となった。価格高騰、鳥インフルエンザの影響で材料が入りづらい状況もありながら取引業者との関係を広く持ち製造を継続することができた。また、製造コスト等意識を高めていく中、取引業者の理解を得ながら販売価格を420円(税別)、卸価格を5円程度の値上げを次年度から開始する。

《重点課題に対する取り組み》

1. 運営基盤の強化（運営・管理体制・サービス管理）

毎月2回の管理者会議で事業所間の連絡調整、課題確認・検討を中心に協調体制づくりを行った。また、日中活動事業所の童里夢、奏楽での業務の連携、確認を行う事で童里夢運営の課題は多いが、協調体制をとることができた。すたあと、ぱあとなあでの兼務職員の配置、支援体制等業務連携、協調体制をとり調整を繰り返しながら働きやすい環境を作ってく。職員体制では年度途中で退職者が相次ぎ日々の職員配置、作業設定と負担感が大きくなってしまった。雑貨班では他事業所からの兼務職員、Pan-Kan 製造センターから1名午後配置と昼前後の時間帯は手厚いが朝夕手薄な時が続き送迎を2ルートから1ルートに再編し朝、夕の手薄さを補った。

生活介護では利用定員に満たしていないので見学者、実習を受け入れ定員充足に努めた。新規利用生活介護2名、就労継続B型1名が利用予定となった。今後も見学者を積極的に受け入れ、丁寧な説明と定員充足に努めていかなければならない。

2. 利用者サービスの拡充

新型コロナウイルスが心配される状況であったが、感染対策を施し、継続した事業運営、利用の受け入れができた。生産活動では離職者がいたこともあり支援体制が整わず職員の負担感が増し生産活動と利用者支援のバランスが崩れてしまうことがあった。利用者支援を中心と捉え生産活動内容と支援体制の見直しを継続して取り組みたい。

利用者みなさんが楽しみにしていた活動やイベントが新型コロナウイルスの影響で中止になるケースが多かったが徐々に落ち着き始め、地域と交流のある石巻校区文化祭が再開され、好評であった合同日帰り旅行も2年連続で実施された。法人全体での忘年会についても昨年度同様オンラインにて開催し、内容も前年度とは違うものをと工夫され楽しめる機会となった。次年度は新型コロナウイルスの影響は落ち着くと見据えて利用者みなさんが少しでも楽しめる工夫をすると共に利用者自治会を通し活動内容等についてニーズを引き出し計画、実施していきたい。

3. 人材育成/支援力の向上

職員体制、現場での職員の欠如を意識するあまり研修の積極的参加が困難であった。しかし長年勤めている職員は自己流になりがちで事業所外研修の必要性を感じ外部研修に行く機会がなかった職員にオンライン研修への参加、意識した支援ができるように繋げた。次年度には事業所外部研修に今まで以上に参加を促していきたい。また事業所内会議（作業班会議、支援会議、職員会議）の仕組みづくり、内容の検討を行ってきた。福祉専門職として役割、責任を理解、自覚し利用者支援において意識を養い高められるよう、オンライン講義を取り入れ継続して作っていききたい。

【障害支援区分別人数】

生活介護

性別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当	合計	平均区分
男性	3	7	4	0	-	-	-	14	
女性	1	4	7	0	-	-	-	12	
合計	4	11	11	0	0	0	0	26	4.7

就労継続支援 B 型

性別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当	合計	平均区分
男性	0	0	5	3	0	0	0	8	
女性	0	0	1	1	0	1	0	3	
合計	0	0	6	4	0	1	0	11	3.4

【年齢別人数】

生活介護

性別	20歳未満	20-25	26-29	30-39	40-49	50-59	合計
男性	0	2	3	2	6	1	14
女性	0	1	0	3	5	3	12
合計	0	3	3	5	11	4	26

性別	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	37歳2ヶ月	23歳0ヶ月	52歳6ヶ月
女性	40歳7ヶ月	24歳1ヶ月	52歳4ヶ月

就労継続支援 B 型

性別	20歳未満	20-25	26-29	30-39	40-49	50-59	60-69	合計
男性	0	0	0	6	1	0	1	8
女性	0	0	2	0	1	0	0	3
合計	0	0	2	6	2	0	1	11

性別	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	39歳6ヵ月	30歳1ヶ月	65歳11ヶ月
女性	31歳9ヶ月	27歳1ヶ月	40歳5ヶ月

【生産活動 売上金額】

生活介護

月	ばくばくぱん	れすとらん くらう	雑貨班	計 (円)
4	405,060	206,120	168,679	779,859
5	384,221	182,120	132,757	699,098
6	387,017	248,960	147,433	783,410
7	349,673	326,130	156,256	832,059
8	309,855	206,550	106,857	623,262
9	364,013	296,270	135,991	796,274
10	504,831	359,050	103,224	967,105
11	502,997	262,004	101,807	866,808
12	889,046	212,670	82,919	1,184,995
1	308,800	253,070	88,595	650,465
2	337,488	327,180	116,269	780,937
3	405,860	332,980	134,610	873,410
計	5,149,221	3,213,104	1,475,397	9,837,682

就労継続B型

月	Pan-Kan 製造センター
4	4,306,063
5	2,234,137
6	3,098,744
7	4,955,603
8	3,106,405
9	3,771,022
10	5,853,080
11	6,067,432
12	4,228,636
1	2,826,678
2	6,461,586
3	4,454,825
計	51,364,211

【原材料費率=原材料費/売上金】

	ばくばくぱん	れすとらん くらう	雑貨班	Pan-Kan 製造センター
売上	5,149,221	3,213,104	1,475,397	51,364,211
原材料	1,438,982	846,053	50,930	23,682,496
比率	27.9%	26.3%	3.5%	46.1%